

広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

IR説明資料
ダイジェスト版

令和3年11月

■ 広島高速道路公社の概要

広島高速道路ネットワーク図



事業主体と有料道路の種類

事業主体	有料道路の種類
東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 西日本高速道路株式会社	高速自動車国道 一般有料道路
首都高速道路株式会社 阪神高速道路株式会社 指定都市高速道路公社 (広島、名古屋、福岡北九州)	都市高速道路
本州四国連絡高速道路株式会社	本州四国連絡道路
地方道路公社	一般有料道路
地方公共団体	一般有料道路

設立団体及び国との関係

- 法令の定めにより、運営上重要な事項については、設立団体(広島県・広島市)及び国の承認等を受け事業を遂行

中期経営計画(2021年度-2024年度)の取組みとSDGs

- 中期経営計画(2021年度-2024年度)における具体的な取組みを通じて、SDGsの達成に貢献できるよう、職員が社会への貢献を実感して自ら仕事に誇りを持ち、業務に取り組みます。

重点テーマ

- ①ネットワーク機能の強化 ②予防保全対策等の推進 ③災害対応力の強化 ④安全な走行 ⑤組織力の強化

具体的な
取組み



※ 中期経営計画については、広島高速道路公社ホームページでご覧いただけます。(URL: <https://www.h-exp.or.jp/project/>)

■ 広島高速道路債券について

広島高速道路債券はBISリスク・ウェイト0%

BISリスク・ウェイト

広島高速道路債券は、地方道路公社法第28条の規定に基づく債務保証付き債券であり、BIS規制上のリスク・ウェイトは地方債と同様の0%となります。

債務保証の内容

広島県・広島市が、それぞれ元金と利息の1/2を、分担して保証します。期限を過ぎても支払いが行われない場合、公社に代わって弁済を行います。

発行予定等

発行予定額	未定
年限	未定
償還方法	未定(満期一括償還予定)
資金の用途	高速道路の建設資金及び長期借入金の借換資金
発行時期	令和4年2月(予定)
位置付け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
特徴	設立団体の債務保証を得て発行します
格付け	設立団体の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
BIS リスク・ウェイト	BIS規制上のリスク・ウェイトは、地方公共団体から債務保証を得るため、地方債と同様に0%です

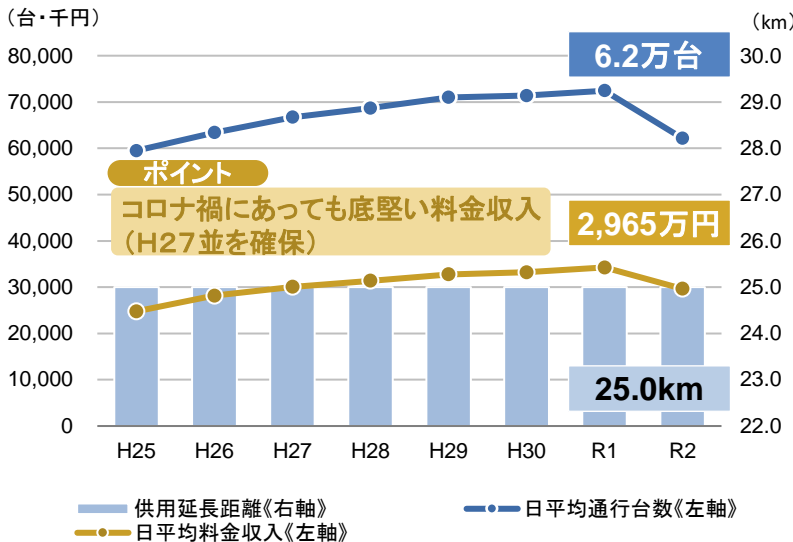
発行
実績

平成19年度から、毎年度継続的に発行

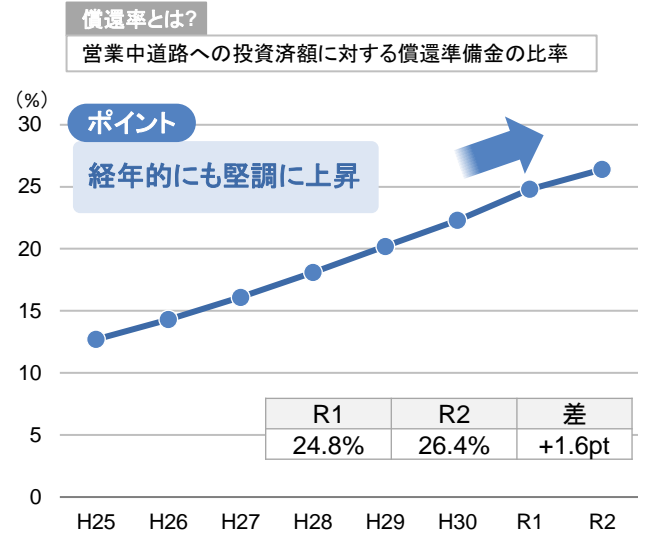
回数	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
第5回	H24.2.28	110億円	10年	1.032%	100円	8bp
第6回	H25.2.28	100億円	10年	0.791%	100円	4.5bp
第7回	H26.2.28	100億円	10年	0.694%	100円	9bp
第8回	H27.2.28	90億円	10年	0.508%	100円	11bp
第9回	H28.2.29	100億円	10年	0.230%	100円	19bp
第10回	H29.2.28	60億円	10年	0.255%	100円	16.5bp
第11回	H29.2.28	50億円	20年	0.763%	100円	6.5bp
第12回	H30.2.22	80億円	10年	0.255%	100円	18bp
第13回	H30.2.22	100億円	20年	0.625%	100円	4bp
第14回	H31.2.21	100億円	10年	0.160%	100円	18bp
第15回	H31.2.21	100億円	20年	0.472%	100円	5bp
第16回	R1.12.16	60億円	10年	0.140%	100円	16.5bp
第17回	R1.12.16	60億円	20年	0.335%	100円	5bp
第18回	R2.2.25	50億円	10年	0.120%	100円	14.5bp
第19回	R2.2.25	50億円	20年	0.320%	100円	5.0bp
第20回	R3.2.19	90億円	10年	0.155%	100円	10.0bp
第21回	R3.2.19	50億円	15年	0.357%	100円	8.0bp
第22回	R3.2.19	90億円	20年	0.491%	100円	3.5bp

■広島高速道路公社の経営状況

通行台数と料金収入の推移



償還率の推移

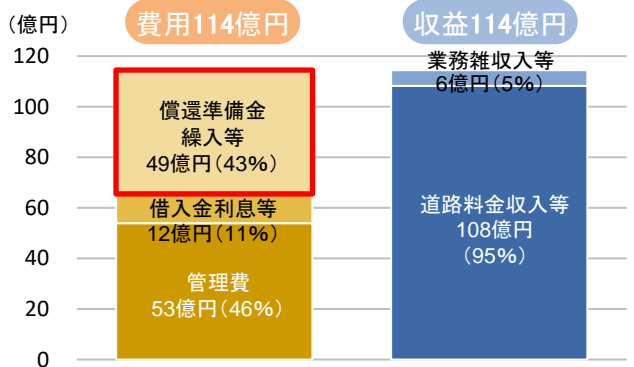


令和2事業年度 損益計算書

(単位: 百万円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業資産管理費	4,984	業務収入	11,102
一般管理費	359	道路料金収入等	10,825
業務外費用	1,164	業務雑収入	276
小計	6,507	業務外収入	296
償還準備金繰入等	4,890		
合計	11,397	合計	11,397

令和2事業年度 営業中道路の収支状況



収益の状況

- 収益の総額は114億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入
- お客様からの道路料金収入は、新型コロナウイルス感染症の影響の中にあっても、108億円を確保(前年度比86.3%)

費用の状況

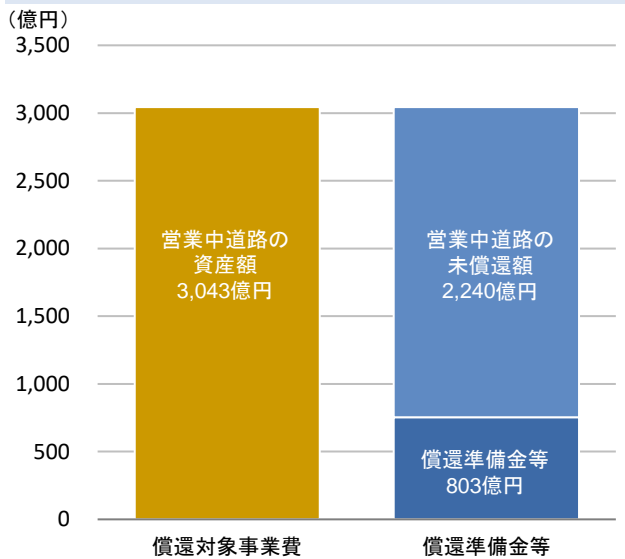
- 費用の総額は114億円で、その内訳は、道路の維持補修や料金収受などに要した管理費53億円、借入金利息等の業務外費用12億円及び借入金の元金償還に充てる償還準備金等繰入49億円

令和2年事業年度 貸借対照表

(単位: 百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	14,403	流動負債	31,240
現金・預金外	14,403	1年内返済金等	31,240
固定資産	397,513	固定負債	214,053
道路	304,279	広島高速道路債券	133,000
道路建設仮勘定	92,559	地方公共団体借入金	37,891
有形固定資産等	675	政府借入金	39,718
繰延資産	392	市中銀行等借入金等	3,135
借入金取扱諸費外	392	退職給与引当金	215
		ETCマイレージ引当金	30
		資産見返補助金	64
		償還準備金等	80,253
		基本金	86,627
		地方公共団体出資金	86,627
		余剰金	134
資産合計	412,307	負債・資本 合計	412,307

令和2事業年度末の準備金積立状況



資産の状況

- 資産の総額4,123億円のうち、お客様にご利用いただいている営業中道路の資産額は3,043億円で、全体の4分の3を占める

負債及び資本の状況

- 負債及び資本の総額は4,123億円で、主なものは、債券を含む長期借入金2,137億円、元金償還に充てる償還準備金(償還準備積立金含む)803億円、設立団体(広島県・広島市)からの基本金866億円
- 建設に要した借入金については、お客様からの道路料金収入で返済